

栃木県立がんセンター研究所にて研究集談会を開催しました

研究所では、研究者が基礎研究の成果として見出した新たな医療の種（シーズ）を、実際の医療現場で活用できる医療技術や医薬品として実用化するトランスレーショナル・リサーチを目指し、非臨床研究から臨床開発に至るまでの幅広い研究を推進しています。今年度は、6月に開催した第2回の研究集談会に続き、第3回を9月18日（木）に、第4回を12月18日（木）に開催しました。各回とも、臨床医をはじめとする多くの職員が参加し、研究所における日頃の研究活動への理解を深めていただく有意義な機会となりました。



栃木県立がんセンター研究所
副研究所長兼病理診断科科长 尾島英知

◆◆◆各日のプログラム◆◆◆

第3回 研究集談会

日時：2025年9月18日（木）

◇腫瘍ペプチドミクスプロジェクト

佐々木 一樹 「がん研究へのペプチドミクスの応用」

◇医療シーズ探索プロジェクト

吉松 有紀 「希少がん研究における前臨床モデルの可能性」

林 雅人 「胃癌の生検検体でやっていること」

第4回 研究集談会

日時：2025年12月18日（木）

◇分子病理分野

阿部 信 「高分化脂肪肉腫の脱分化に関与する分子機構の解明と新規病理診断基準の確立」

三浦 瑛祐 「肺腺癌亜型デジタル解析に基づいた、空間的亜型分布の分類確立」

白川 博文 「化学的根拠に基づいた膵臓癌化学療法の治療効果判定基準作成の試み」

栃木県立がんセンター研究所では、栃木県内および全国のアカデミアや企業との共同研究体制を強化し、栃木県で唯一の栃木キャンサーバイオバンクを有している強みを最大限に発揮したがん克服に向けた研究（トランスレーショナルリサーチ）を進めております。

※共同研究にご興味があれば HP お問い合わせフォームよりご相談ください。